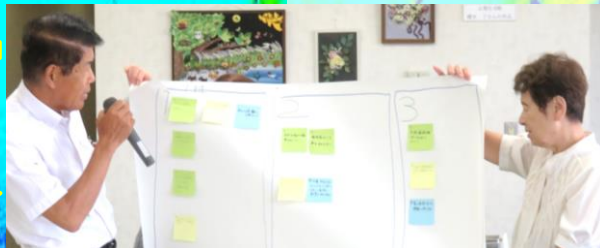


地域の防災、今何をしたらいい？



9月5日(土)は、名古屋工業大学の秀島栄三教授を講師にお招きし、自然災害に直面したとき自分ができることについて学びました。「被災することを想像してみる」として、「減災」「自助」の立場から自分にできることを考えて、熱心に講義を受けることができました。グループ討議では、東海豪雨の映像から3つの



課題が与えられ、自身の体験談を交えながら発表を行い、非常時のことを自分事として考える授業となりました。

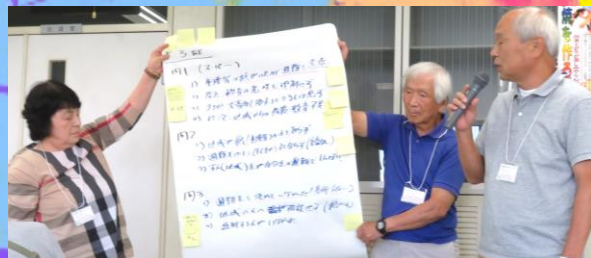
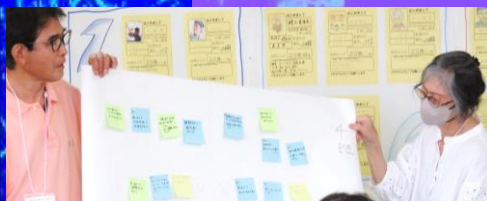
🌀災害の多いこのごろなので、とても勉強になりました。近所付き合いの大切さ、避難は早めに、ハザードマップを活用して早めの準備があると安心ですね。🌀防災の心掛け、改めて大切に思います。少しずつ用意しなければ。

🚶大学の恩師の講義を久しぶりに聞いてよかったです。日ごろから避難方法を明確化すること、地域住民との付き合いを大切にすることなどを心がけます。🚶資料準備の上、90分を60分に要領よく講義されて、間延びすることもなく良かったです。各班の発表も上手にできたと思います。🚶災害について漠然と考えていたが、もっと真剣に「自分事」として考え、対策・対応をしなければいけないことを再認識。さっそく、避難袋の中身の点検、ハザードマップの確認をします。🚶いつもの講義の3分の2の時間でまとめてくださって、苦勞されていると思いますが、少しウィットが入ると皆さんが聞きやすいかな？🚶防災について、これまではありがたいことに他人事と思っていることができたが、これを機会にまずは地域の会に参加します。🚶普段はなかなか防災について話し合うことはありませんが、ご近所とときどき話し合う必要を感じました。よい勉強になりました。ありがとうございました。

🚶東海豪雨の水害のビデオを見て、私も当時を思い出しました。西区の会社からあま市の自宅に帰るのに苦勞しました。名駅で電車が止まっていました。いざというときに助けてくれるのは地域の人だ。ハザードマップの活用は大切だ。日ごろから防災について関心をもつことが大事だと思いました。🚶地域で何ができるか、よく考えてみます。ともに考え行動したいです。🚶体験したことのない話が聞いて良かったです。🚶災害のときに何が自分にできるか考え、備えていかなければならないと思いました。🚶後半のグループワークでは、皆さん同じ意見だったなあと感じました。

やはり事前の情報収集、早めの避難が大事です。🚶防災への関心はあるができていない。防災マップを見るようにする。🚶防災は身近な問題で関心があります。町内の一人一人が関心をもっていたきたいと思っています。

🚶災害発出以前にヒアリング調査すべき点が多くあることに気づいた。



SILVER COLLEGE NEWS
シルバーカレッジ
新聞

発行元:シルバーカレッジ
事務局/教育部生涯学習
課(美和公民館)